

共同印刷株式會社労働紛議ニ関スル件、

既報掲載會社精美堂工場ノ解雇問題及博天館工場ノ作業短縮問題ニ関シ去收労働組合ニ於テハ安藤純一郎等ヲ交渉ノ任ニ任シ其後屢々解雇職工ノ復職作業短縮反対ニ任シ此例ト交渉シタル元會社ハ之ヲ拒絶シタルニシテ一昨十日ハ石川正若君が谷岡組合長部ニ於テ協議會ヲ開キ善後策ヲ協議シタル結果今因ノ社保ノ態ニ及ハ吾ハニ批駁シテ之ニ對シカ獲得シタル労働条件ヲ奪還セントスルモノナルヲ以テ鋭意対抗ノ象アリトテ別記ノ如キ騰子收欄印刷物ヲ作成シ一職組合員ニ與給テ復起スル事ニ決シ昨十一日一職職工ノ出勤時ヲ擱シ之ヲ罷布セリ博天館工場職員積造野鐵工部ノ職工等ハ作業短縮多ク急業状態ニアルモノ一職職工ハ勤様ノ模様ナシ右及申(通)報候也

(副記一)

概!!

嗚呼!!
資本家が今度発表したる鑄造科野品科及鉄工科に關する問題は何を語るのか?
彼等の宣言と同時に我等が再三に陳る交渉に依つて彼等資本家輩の心勝は明白である、かつ彼等が提唱して出来上つた能率増進委員会又工場協議委員会を以てテウウケトして只利圖つたためは会社日頃の言葉にも似ず如何なる手段をも又残虐さをも承へて卑劣事ともしない、かくして我等は日頃より資本家根生の露露。葎蕪しがたす不誠意は今や知覚とす我等の面前に突き出して来たのだ。

資本主義は一刻のたゆみもなく行詰りと山崩れに向つて進展しつつある、したがつて資本家階級は現在の労働階級の陣容に於ては徹底的彈圧と過去に於ける労働者の資本家に対する完全なる奴隸的屈從を意圖的に強ふるべく資本家階級は我等が固執の如き結果と永に闘苦しいく血と涙とを以て闘ひ得たる数多の労働条件の直捷的奪還と一方HP俱樂部より日本労働組合評議会加盟の出版労働組合として労働階級の陣容の一角に於て資本家階級の陣容を絶へず脅かしつつある我等が組合に對して悲鳴的一大批戦である生産者を無衣日頃洗練されたる従業員と知らぬ彼等とすてに血まよつ